



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園
発行日 令和 3年 3月 1日
発行者 園長 末永 寿宣

3月号

表現活動の楽しさ ～豊かな感性を育むために

園長 末永 寿宣

子どもたちは毎日遊びを通じて様々な体験をしています。楽しい体験をすると、もっとしたいという欲求が生じます。すると、子どもたちはもっと楽しくなるためにはどうしたら良いか、工夫を始め、工夫したことが思い通りに上手くいったら、とても大きな満足感と達成感を感じます。

本園では、表現することで豊かな人間性の基礎を自然と育てていくことを目指しています。今回は、2月に行った表現活動についてお知らせいたします。

年長すみれ組



○3年間、体も心も大きくなって、とても立派になりました。お子様にとって、一生のうちで一番成長する3年間とも言われています。3月18日の修了式まで、小学校の入学準備等で慌ただしい日々が続くかと思いますが、東日暮里幼稚園の思い出を親子で振り返っていただければ幸いです。

○東京藝術大学との連携事業では、藝大の先生と一緒に銅版画制作に取り組みました。全3回の工程でどんな銅版画の作品ができあがるか楽しみです。3月12日（金）の最終回は、オンラインで各区内幼稚園へ公開する予定です。荒川ケーブルテレビのニュース番組でも取り上げてくださいます。

年中たんぽぽ組



○保護者の方の参観が実現し、元気に役になり切って演じました。出番を待つ子も一緒に踊り、お話の流れをみんなで作り出すことができました。頑張った子ども達は、保護者の方にぎゅっと抱きしめてもらい、とっても満足そうでした。感染症対策にご協力いただいたの参観、ありがとうございました。

○「英語で遊ぼう」の取り組みでは、体を動かしながら「right! left!」と指を指したり、手のひらを合わせたり広げたりしました。英語の

体験を終えた子どもたちは、日常でも、進んで英語で挨拶を交わすようになっています。

年少もも組



○遊戯室で劇に取り組んだりCOTに取り組んだりして、たくさん遊びました。

○表現参観では、友達や先生と一緒に役になりきって動く楽しさを感じました。また、ドキドキしたけど沢山の拍手をいただき、最後にはお家の人にギュッと抱っこしてもらい、とても嬉しそうでした。その一つ一つの経験が、子ども達の楽しかった、またやりたいという意欲や自信につながっています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、子どもの安全・安心な園生活を確保するため、様々な角度から検討が必要となります。引き続き、保護者・地域の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いたします。